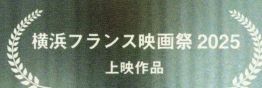
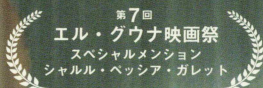
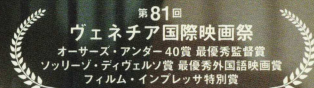


CHARLES PECCIA GALLETTTO

母として、ひとりで守ってきた“ゆっくりな”息子
思いがけず訪れた巣立ちの季節に心は波立つ——
フランスの新星が描く愛と解放の物語



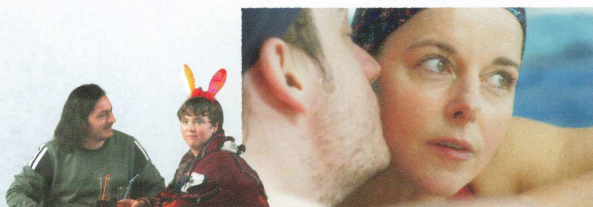
繊細で心を動かすポートレイト
— Le Journal du Dimanche

感情のバレットの奥深くまで踏み込む
— Les Inrockuptibles

主人公は単なる「勇気ある母親」ではない。
迷いや昂る感情を持つ等身大のヒロインだ。
— Le Parisien



パリ郊外の小さなアパートに暮らすシングルマザーのモナは、発達に遅れのある 30 歳過ぎの息子ジョエルを女手ひとつで育ててきた。モナはショッピングモールのビューティ・サロンで、ジョエルは障がい者のための職業作業所で働いている。互いを支え合い、いたわりながら暮らしてきた二人。ところがある日、モナは、ジョエルと同じ施設で働くオセアンが彼の子を妊娠したと聞かされる。二人の関係を何も知らなかったモナは動揺し、母子の絆も揺らぎはじめる——



若さや欲望を封印し、歯を食いしばって生きてきた——
人生を息子に捧げてきた女性の心と体の解放にエールを送り、
親と子の新たな人生のはじまりのときを祝福する



横浜フランス映画祭 2025 にて『My Everything』のタイトルで上映され好評を博した本作は、日本での劇場公開も記憶に新しい『犬の裁判』で共同脚本を務めたアンヌ＝ソフィー・バイイの長編監督デビュー作。医療従事者の家庭で育ち、ケアする人とされる人の美しくも葛藤のある関係を間近で見つめてきたバイイが、自ら綿密な取材を重ね、オリジナル脚本に仕上げた。プレミア上映されたヴェネチア国際映画祭では 40 歳未満の新しい感性を持った若手監督・脚本家などに贈られるオーサーズ・アンダー 40 賞最優秀監督賞含む 3 冠を受賞。フランスから現れた新たな才能だ。突然の子離れを迫られ動揺する母モナを演じたのは、世界的人気を誇る TV シリーズ「エージェント物語」の“ノエミ”役でブレイクしたフランスの人気俳優、ロール・カラミー。モナの息子ジョエルに障がいを持つ俳優としてはじめてセザール賞有望若手男優賞の一次候補に選出されたシャルル・ベッシア・ガレット。ジョエルの恋人オセアンに演技未経験ながら施設での即興ワークショップで見出されたジュリー・フロジェを起用した。繊細でエモーショナルなアンサンブルで描く、心の旅。人生の分岐点を通じた先に見える景色とは——



監督・脚本：アンヌ＝ソフィー・バイイ 出演：ロール・カラミー、シャルル・ベッシア・ガレット

2024 | フランス | フランス語 | 95分 | カラー | ビスタ | 5.1ch 原題：Mon Inséparable / 英題：My Everything 日本語字幕：岩辺いずみ

後援：在日フランス大使館 / アンスティチュ・フランセ 提供：スターキャット 配給：スターキャットアルバトロス・フィルム 宣伝：エスパース・サロウ 監製：cinema.starcat.co.jp/myeverything

cinema.starcat.co.jp/myeverything



© 2024 L.F.P. - LES FILMS PELLÉAS / FRANCE 3 CINÉMA